

平成23年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

福祉保健課(内線：7158)

1目 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
支え合いボランティア養成組織化事業	16,558	13,687	2,871	8,278			8,280	
トータルコスト	16,558千円(前年度 13,687千円) [正職員：0.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	ボランティアコーディネーター養成研修修了者の増(目標値：500人)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

支援が必要な方が地域で安心して暮らしていくことができる環境を整備するため、養成したボランティア運営人材の組織化などを行い、県民のボランティア活動を一層活性化することにより、地域での支え合いの担い手を確保する。

特に、養成が急務となっている災害ボランティアについては、災害ボランティアバンクを設置、活動希望者を登録し、平常時からの情報提供及び災害発生時のボランティアニーズの収集・発信を行う。

2 主な事業内容

- (1) 実施主体 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
- (2) 補助率 定額(負担割合 国1/2、県1/2)
- (3) 補助の内訳

区分	内容	予算額(千円)
①災害ボランティアの養成【新規】	活動希望者の登録、情報提供、派遣調整を行う「災害ボランティアバンク」を設置・運営するとともに、災害ボランティアの担い手を養成する研修会を開催する。【新規】 また、災害ボランティアセンターの運営を行うコーディネーターを養成・登録し、組織化を図るとともに、関係機関による会議を開催し相互の連携を図る。【新規】	3,827
②ボランティア団体等運営人材の養成【一部新規】	市民とボランティアを調整するコーディネーターの研修会及び生活支援ボランティアのグループ等のリーダーの研修会を開催し、ボランティア団体を運営する人材を養成する。(継続) また、企業CSR活動(社会貢献活動)とタイアップしたボランティア講座を開催し、地域で活動する企業ボランティアを養成する。【新規】	1,786
③ボランティアの組織化【一部新規】	過去に養成したボランティアコーディネーターの組織化を図るため連絡会を設置し、組織化を図る。【新規】 また、市町村ボランティアセンター相互のコーディネートを行うとともに、市町村社協との課題の共有・検討を行い、市町村ボランティアセンターの活性化を図る。(継続)	216
④ボランティア団体の支援(継続)	鳥取県ボランティア・市民活動センターの運営、事業評価及びボランティア振興方策を検討するための委員会を開催するとともに、福祉施設の職員や学校等を対象とする福祉ボランティア情報誌「HOTeye」を発行・配布する。(継続)	1,104
⑤職員人件費	上記事業を行うに当たって必要となる職員の人件費	9,625

3 これまでの取組状況、改善点

従前、鳥取県社会福祉協議会が行ってきたボランティア運営人材の養成のみでは、一過性のものとなってしまっているため、一歩押し進め、これらのボランティア運営人材の組織化や連携を促進し、より一層ボランティア活動の活性化を図る。

また、特異性があり、平常時からの養成が急務である災害ボランティアについては、県社協において活動者を養成するとともに、災害時に迅速にボランティア受入体制を取るため、災害ボランティアセンターを運営する人材を養成し、日頃から関係機関相互の連携を図り、体制を整備する。